



▲アイ・リンクタウン展望施設から撮影
1463日ぶりの、夏が来る。



▲市川会場から撮影



市川会場から撮影



菊：打ち上げ花火の中心となる割物の代表的種類。中心から炭火色の尾を引いて球状にパツと広がっていく花火。
牡丹：菊と並ぶ割物の代表的種類。菊とは対照的に尾を引かず、最初から色の炎を出して球状に広がっていくのが特徴。
冠柳（冠菊）：星の発光時間が長く、大きく開いた星が尾を引き垂れ下がるもので、童女の髪型「髷（かむろ）」に似ていることが語源。
千輪菊：大きな玉の中に小さな玉がたくさん入っているもので、時間差でいろいろな花が一斉に咲きます。
型物：平面状や立体的に開き、ハートや笑顔、土星、ひまわりなどの形状に見えるよう、玉の中の星の配置に工夫をこらしたものの。

4年ぶり開催

納涼花火大会

市川市民

8月5日(土)に第39回市川市民納涼花火大会が開催されます。会場周辺にはかなりの数の観客が訪れると予想されるため、会場アクセスなどを確認して安全に花火大会を楽しみましょう。

☎711-1142観光振興課

花火師の天野さんに聞きました＞打ち上げ・演出の紹介

私たちは自然界などからヒントを得て、富士山などのテーマに合わせて花火を作っており、演出にこだわりを持っています。花火は事前に打ち込んだプログラムをコンピューター制御で打ち上げる方法もありますが、打ち上げのタイミングを観客のみなさまの呼吸に合わせるため、私たちは手動式にとくにこだわっています。オーケストラの指揮者のように、打ち上げ中250回くらい腕を振り下ろし、それを合図に職人が点火ボタンを押します。観客のみなさんに少しでも大きく感動してもらうために、間の取り方などを工夫しています。



▲打ち上げの合図
撮影：タカオカ邦彦



▲仕掛け花火「富士」の設営中

有料観覧席販売中

機敷席 (180cm×90cm、定員4名) 24,000円
ベア席平面 (150cm×90cm、定員2名) 13,000円
ベア席斜面 (150cm×90cm、定員2名) 12,000円
イス席 (パイプ椅子、定員1名) 8,000円
自由席 (指定エリア内での自由観覧) 1名5,000円

3歳以下の乳幼児同伴は、ベア席及びイス席は1人、機敷席は2人。自由席は大人1人に対して未就学児1人まで。ただしイス席では保護者の膝の上で観覧。購入はチケットぴあまたはセブン-イレブン マルチコピー機から直接購入(電話および対面による販売はありません)。

大会プログラム

19:15 ① Smile again !
市川市民納涼花火大会
19:25 ② 夜明けの富士
～生命の息吹き～

大がかりな仕掛け花火の富士は、クレーン車で吊り下げています。幅280m、高さ50mの花火が織りなす雄大な造形美が見られます。

19:35 ③ 彩色のカルテット
19:45 ④ ヤマトさくら～百花繚乱～
19:55 ⑤ PINK☆EXPLOSION !
20:05 ⑥ 瑠璃色の願い
20:15 ⑦ みんなのSDGs
～ともに生きる未来へ～
20:25 ⑧ 新時代の幕開け



宗家花火鍵屋15代目
天野安喜子さん

全てのテーマを見逃さずに

市川の花火の特徴は、上空だけでなく水面に映る花火も全て見られる情景と、情緒を感じられる環境が整っていることです。コロナの影響で中止となっていた年は、私にも何かできることがないか探る日々でした。コロナの収束を願い1年に1度少ない数ですが花火を打ち上げたところ、見てくれた方から、たくさんの喜びのメールをいただきました。花火は1発打ち上げるだけでも、広い範囲にいる多くの人の目に触れ、同じものを見た人と人とがつながる芸術作品かと思っています。毎年一つひとつのテーマにこだわりを持って演出・制作をしていますので、全てのテーマを見逃さずにお楽しみください。

インタビューの様子は7月22日(土)に市公式YouTubeチャンネルでも公開の予定です。

☎8月5日(土) 午後7時15分～8時30分
打ち上げ不可能の場合は中止(順延なし)
打ち上げ発数＝約14,000発(株式会社宗家花火鍵屋)
場大洲3丁目地先 江戸川河川敷
最寄り駅＝市川会場：JR市川駅(徒歩15分程度)、
行徳会場：東京メトロ東西線妙典駅(徒歩20分程度)

花火大会に関する情報や基本的なルール・マナーは、花火大会Webサイトを確認してください。



▶花火大会Webサイト

